

# 報 告 書

## 第3回在宅医療連携推進委員会 (主催:西部医師会)

- 1 日 時 令和7年8月5日(火) 19時15分～20時45分  
2 場 所 鳥取県西部医師会館1階 会議室1-1  
3 出席者 西部総合事務所米子保健所 藤井所長、健康支援総務課 中本保健師、  
医薬・感染症対策課 吉田補佐、榎原 他 計24名

### 4 概 要

在宅医療体制を議論する場としてR6年1月に第1回、R6年5月に第2回を開催。これまでの委員会の内容を再確認するとともに在宅医療提供に関するデータをみながら改めて各職種から課題を出し合い協議した。

### 5 内 容

#### (1) 挨拶

【仲村委員】医療介護のピークが来ると言われている2040年に向けて連携を強化し、患者さんに出来るだけ不利益がないようにしていく必要がある。色々な委員会や各職種が集まる会で様々な協議をされているが、それを全体的に俯瞰する形でこの委員会で意見を出し合い、鳥取県西部の医療介護がよりよい連携を組めると良い。本日の会を再出発としてまた連携を強めていけたらと思うので、よろしく願いたい。

#### (2) 報告

##### ①第1回、第2回委員会の概要(資料1)

※質疑、意見なし

##### ②地域保健医療計画(在宅医療)(資料2)

・719ページ「わたしのいきかた(DVD・西部医師会作成)」について、恐らく県の予算で作成しているはずなので確認してもらった方が良い。(医師)

##### ③関係会議等一覧、各組織の連絡体制(資料3)

※質疑、意見なし

#### (3) 協議 (○:委員 ()内に職種を記載 ●:米子保健所)

##### ①在宅医療提供に関する課題について

##### 在宅医療提供体制、在宅医療提供状況(資料4)

○在宅訪問薬局数について、第8次鳥取県保健医療計画の令和11年度目標値を既に超えているが、目標値設定の根拠は何か。山間地域は距離や薬局数の問題等を抱えているところが多いと思うので、また相談したい。(薬剤師)

⇒●目標値の根拠は今お示しができないが、中間見直しで数値目標を設定する場合は薬剤師会など実務をされている方にも相談したうえで設定する必要があると考えている。

○歯科診療所は継続通院していた人が通院できなくなって訪問診療に入るスタンス。訪問診療をしない診療所については地域歯科医療連携室が調整し近隣の診療所で対応している。中山間地域では、廃院などにより一人の歯科医師に負担がかかるという問題があるので、歯科医師会会員の中で調整し協力しあっている。(歯科医師)

##### 介護サービス提供状況(資料5)

○診療報酬改定により病院と介護施設のスタッフが1か月に1回面談することが算定を取るためのルールになっているが、実際どのくらい連携がとれているのか。(医師)

⇒○11～12施設と提携。Webで病院と施設を繋いで月に1回面談を実施している。受け入れる人数は月に数名だが、入退院はスムーズにしていると思う。病院に加算がある訳ではないが、元の施設へスムーズに退院できることが病院として一番のメリット。(看護師)

○月に1回面談を実施。提携を結んでいる法人との入退院支援は、よりスムーズに進むようになった実感がある。(医療ソーシャルワーカー)

○民間のサ高住や有料老人ホームに往診や訪問看護をしている数もかなり多い。実際には自宅に訪問している数は少ないということもあるかもしれない(医師)

⇒●実態としてサ高住などが多いということであればその把握が大事だと思うのでまた調べてみる。

○訪問リハについて、訪問看護から出ているものと病院から出ているものがあり算定の点数も異なる。両方合わせて訪問リハと捉えられているが、病院から出ているものが本当の訪問リハ。西部圏域は訪問リハが多いが、中身の実態が見えない。(理学療法士)

⇒●資料5は訪問看護からのリハと病院からのリハ両方合わせてのものだと思うので、また調べてみる。

##### 死亡場所の割合の推移(資料6)、医療介護需要の将来予測(資料7)

○死亡場所の内訳についての定義を教えてください。(老人ホームとは特養なのか介護付きなのか)(医師)

⇒●老人ホームの定義についてはまた確認して回答する。

○死亡場所について市内では在宅クリニックが増えた影響もあり自宅がどんどん増えているが、郡部では家族の介護力がなく施設に入らざるをえない家庭が多いのでは。その傾向は今後更に極端になると思う。(医師)

○江府町は人口減と資源不足で、自宅や施設での介護を提供できないため病院で看取りとなっている現状だが、今後の人口減が目に見えている中で新たな人材を確保しても維持できないのではないかという問題については、日野郡3町で検討する必要がある。(市町村)

○日野郡の方が米子市内の病院で看取りとなっている可能性もある。南部町でも自宅看取りは厳しくなっていると感じる。病床数が減ると受け皿がなくなってしまうので、病院の負荷を減らすためにも、いかに施設での看取り数を上げていくかが今後重要となる。米子市、西伯郡も含めて考えていく必要がある。(医師)

⇒●地域医療構想の病床機能別病床数を検討する際には、米子市だけでなく広域で、看取りの場所の確保という部分も考える必要がある。

⇒○施設に入った段階で、最期をどうするかという話を積極的にしてもらおう風土づくりも必要。(医師)

○病院から看取り目的で自宅や老人ホームに退院してもらうことも増えているが、往診して看取りをされる在宅クリニックのキャパはどうか。境港市内で往診して可能な医療機関は限られるので今後ともご協力いただけると大変助かる。(医療ソーシャルワーカー)

⇒○米子市に限って言えば在宅専門クリニックが4つあるのでキャパはいくらでもある。(医師)

## ②各種課題への取組みについて

### 訪問看護師確保関連の施策(資料8)

○中山間地域への訪問看護に関する補助について、実績等が分かれば教えて欲しい。(医師)

○中山間地域への訪問看護について30分以上1時間以内の訪問への補助金と、ペイシエントハラスメント対策についてやむを得ず複数名で訪問する場合の補助金をもらう方法を教えて欲しい。(医師)

⇒○中山間地域の訪問看護に関する補助は、登録人数は分かると思うが、実績はまだ出ていないと思う。(看護師)

⇒●確認して改めて回答する。

○特定行為ができる看護師は増えているか。(医師)

⇒○把握している範囲では自院の看護師が2名、他の施設の看護師で1名取得されている方がいる。特定行為と専門看護師の両方を持っている看護師が初回訪問に行くとも月1回目の管理料が高くなるのでメリットはある。

ただ、手順書を医師が作成することになっているところを実際は看護師が作成していることも多いが、それをよしとしない医師もいると思うので、資格を十分に活かしている看護師ばかりではないかもしれない。(医師)

○訪問診療についても南部町の端から端まで行くと時間がかかる。臨機応変な制度に変えていければ面白い。(医師)

⇒○松江市か島根県で、30分以上の場所への訪問診療への補助が出る制度があった。(医師)

○免許返納と訪問診療の相関関係は高いと思う。病院に行くための交通手段などへの支援があると良い。(歯科医師)

### 身寄りのない高齢者への病院アンケート(資料9)

○病院が抱えている困りごとで挙がっている退院先の確保について、確保の難しさはどこからきているのか。(医師)

⇒●対象が身寄りのない方なので、身寄りのない方でいうと退院先の確保に困っているということだと思う。

⇒○意識がない患者に意向確認することができない。支払いの問題があり転院先に受け入れてもらえないこともある。家族を探すことにも時間がかかり、手紙のやりとりで1ヵ月かかったこともある。また、居住地が他県でも倒れた場所が鳥取県なので鳥取県で病院を探さないといけないこともある。(看護師)

⇒○退院まで7ヵ月かかった事例がある。金銭的な部分や身元引受人の問題で施設に受けてもらえないことが多くなっている。行政にも入ってもらうが、整うまで時間がかかるのが現状。(看護師)

⇒○後方支援病院として転院相談を受ける際、病状は転院可能だが身寄りがいないとか経済的な問題があるという相談もあるが、病院だけでなく出来るだけ行政に入ってもらい一緒に考えてもらうようにしている。(看護師)

○身寄りのない人について、行政のどこに相談するのが良いか。(医師)

⇒○どこの市町村も基本的に福祉事務所が窓口となっているはず。現在、西部圏域在宅医療連携に係る意見交換会(市町村が集まる会議)の中で、身寄りがいない方が亡くなった場合の窓口の一覧を作成中。(市町村)

⇒○生保を受けている人は生保担当に連絡している。現状、急ぐところは病院でやらざるをえないが、病院と行政それぞれの役割で患者さんの最期について協力してできると良い。「うちじゃない」はなしで連携が取れると病院としてもありがたい。(看護師)

### DNAR 搬送状況、指示書について(資料10)

○不搬送同意書について存在を知らない先生もおられると思うので周知の検討が必要。(医師)

#### (4) 閉会挨拶

【藤井所長】身寄りのない高齢者については国も注目している大きな課題。医療体制については急性期医療の役割分担などが次のステップの課題。郡部は市部と随分様子が違うためまた別で考えていく必要がある。西部地区は関係者の力で医療介護の連携が図られ、病院から施設・在宅での看取りなどの体制は全国的に見ても充実した体制。個別の課題はそれぞれのところで検討しつつ、一堂に会しての協議もまた進めていきたい。